

# SDGsに関するアンケート調査結果

SDGs推進課

## 1 調査目的

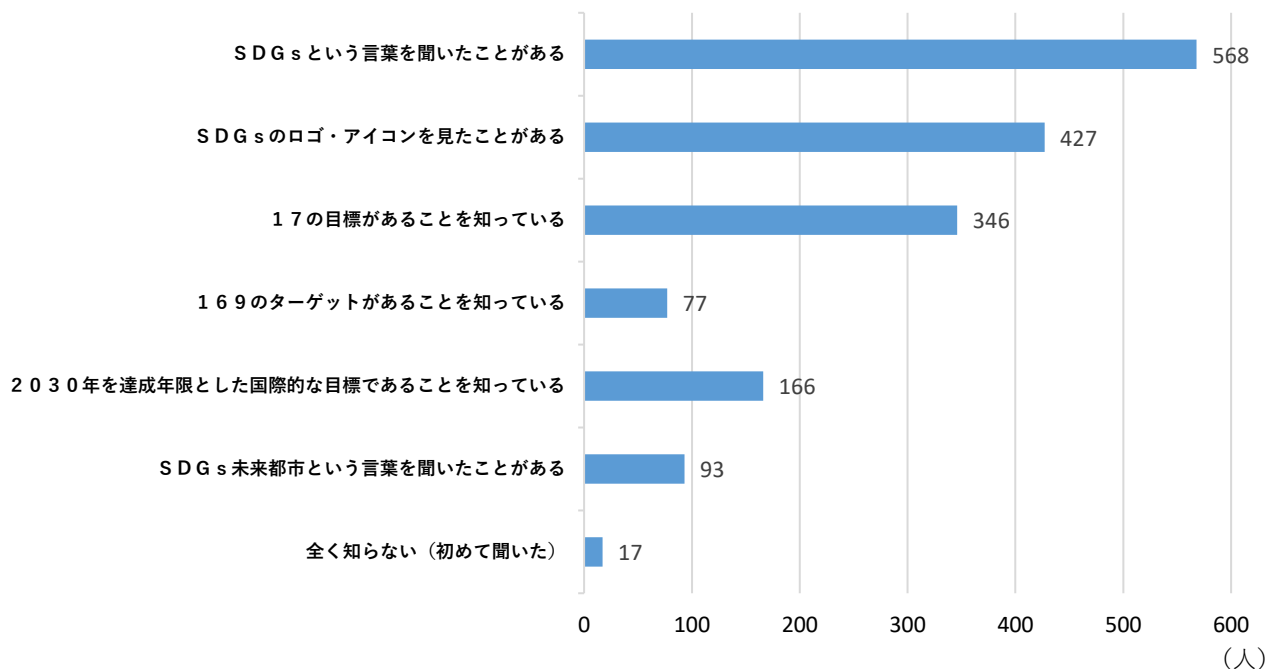
SDGsを原動力とした持続可能な地域づくりの実現への取組みをさらに進めるため、今後の参考として、アンケート調査を実施しました。

## 2 調査結果

問1 あなたは、SDGsについてどの程度知っていますか。

回答者 662 人 (複数回答)

	回答数	割合
SDGsという言葉聞いたことがある	568	85.8%
SDGsのロゴ・アイコンを見たことがある	427	64.5%
17の目標があることを知っている	346	52.3%
169のターゲットがあることを知っている	77	11.6%
2030年を達成年限とした国際的な目標であることを知っている	166	25.1%
SDGs未来都市という言葉聞いたことがある	93	14.0%
全く知らない(初めて聞いた)	17	2.6%
計	1,694	-



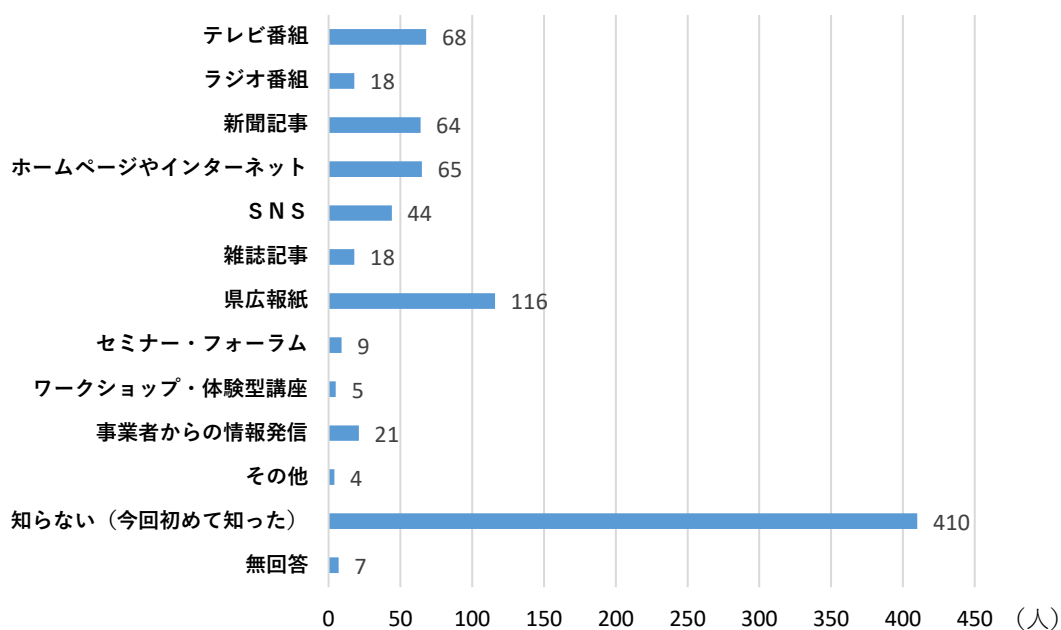
問2 (問1で「全く知らない(初めて聞いた)」以外をお答えの方)

あなたは、「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワークを知っていますか。

知っている場合は、どのように知りましたか。

回答者 646 人 (複数回答)

	回答数	割合
テレビ番組	68	10.5%
ラジオ番組	18	2.8%
新聞記事	64	9.9%
ホームページやインターネット	65	10.1%
SNS (Facebook、X(旧ツイッター)、Instagram、YouTube、LINEなど)	44	6.8%
雑誌記事	18	2.8%
県広報紙 (市町村広報紙や地域情報誌(フリーペーパー)に掲載)	116	18.0%
セミナー・フォーラム	9	1.4%
ワークショップ・体験型講座	5	0.8%
事業者からの情報発信	21	3.3%
その他	4	0.6%
知らない(今回初めて知った)	410	63.5%
無回答	7	1.1%
計	849	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 講義
- ・ 市町村の広報誌

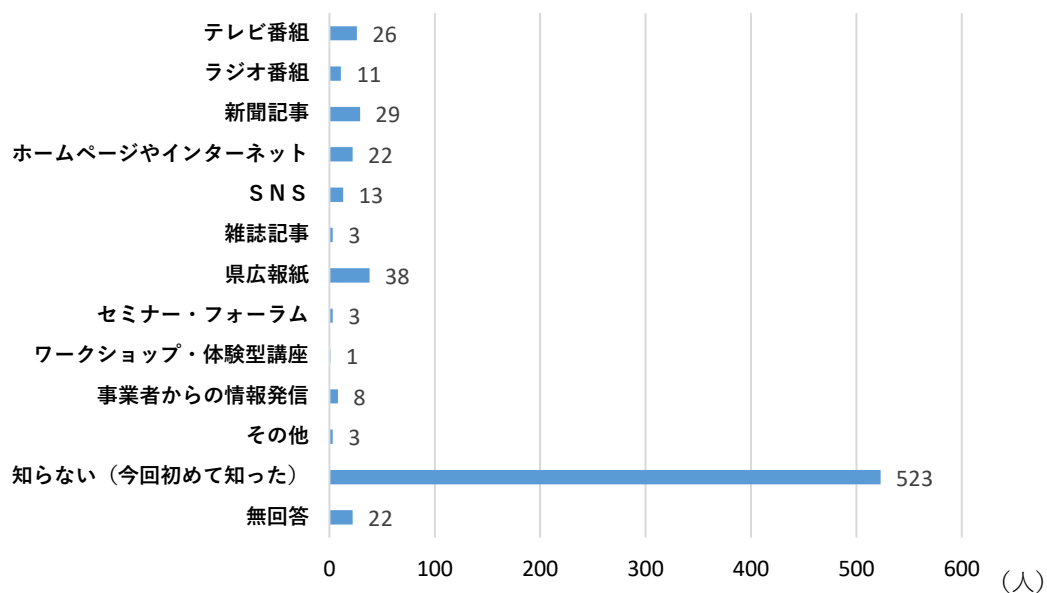
問3 (問1で「全く知らない(初めて聞いた)」以外をお答えの方)

あなたは、令和5年7月に岐阜県が創設した、県内事業者のSDGsの取組みを見える化させ、その取組み度合いに応じて「シルバーパートナー」「ゴールドパートナー」として登録する「ぎふSDGs推進パートナー登録制度」を知っていますか。

知っている場合は、どのように知りましたか。

回答者 646 人 (複数回答)

	回答数	割合
テレビ番組	26	4.0%
ラジオ番組	11	1.7%
新聞記事	29	4.5%
ホームページやインターネット	22	3.4%
SNS (Facebook、X(旧ツイッター)、Instagram、YouTube、LINEなど)	13	2.0%
雑誌記事	3	0.5%
県広報紙 (市町村広報紙や地域情報誌(フリーペーパー)に掲載)	38	5.9%
セミナー・フォーラム	3	0.5%
ワークショップ・体験型講座	1	0.2%
事業者からの情報発信	8	1.2%
その他	3	0.5%
知らない(今回初めて知った)	523	81.0%
無回答	22	3.4%
計	702	-



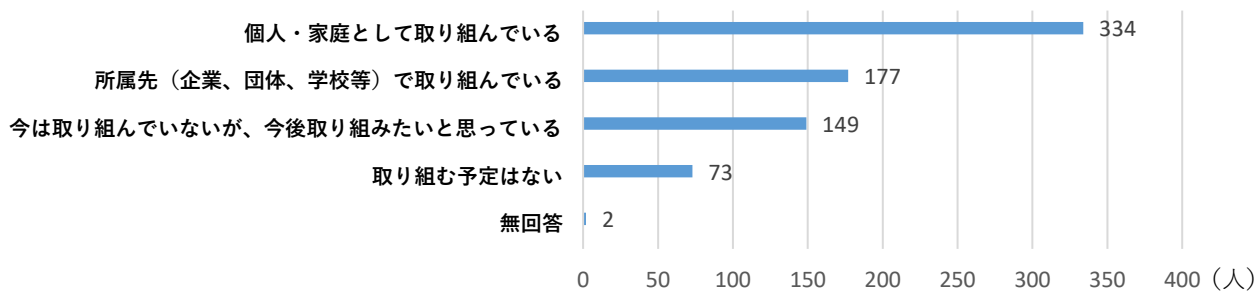
「その他」のうち主なもの

- ・ 勤務先での取り組み

#### 問4 あなたは日常生活の中でSDGsを意識して、何か取り組んでいますか。

回答者 662 人 (複数回答)

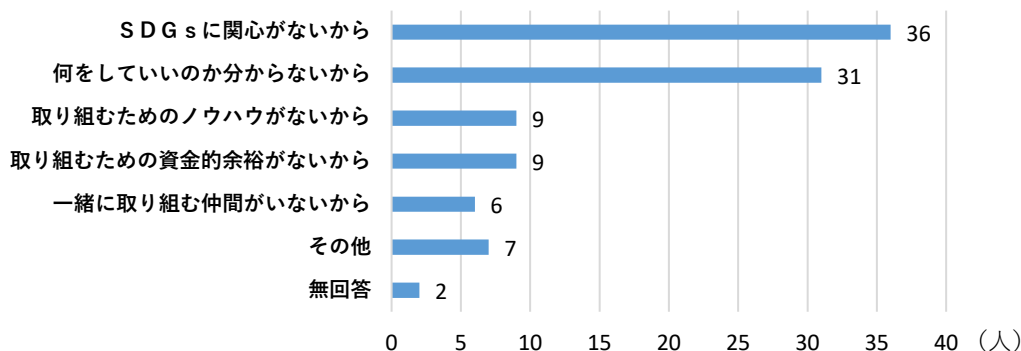
	回答数	割合
個人・家庭として取り組んでいる	334	50.5%
所属先(企業、団体、学校等)で取り組んでいる	177	26.7%
今は取り組んでいないが、今後取り組みたいと思っている	149	22.5%
取り組む予定はない	73	11.0%
無回答	2	0.3%
計	735	—



#### 問5 (問4で「取り組む予定はない」と答えた方)

その理由は何ですか。 回答者 73 人 (複数回答)

	回答数	割合
SDGsに関心がないから	36	49.3%
何をしたいのか分からないから	31	42.5%
取り組むためのノウハウがないから	9	12.3%
取り組むための資金的余裕がないから	9	12.3%
一緒に取り組む仲間がないから	6	8.2%
その他	7	9.6%
無回答	2	2.7%
計	100	—



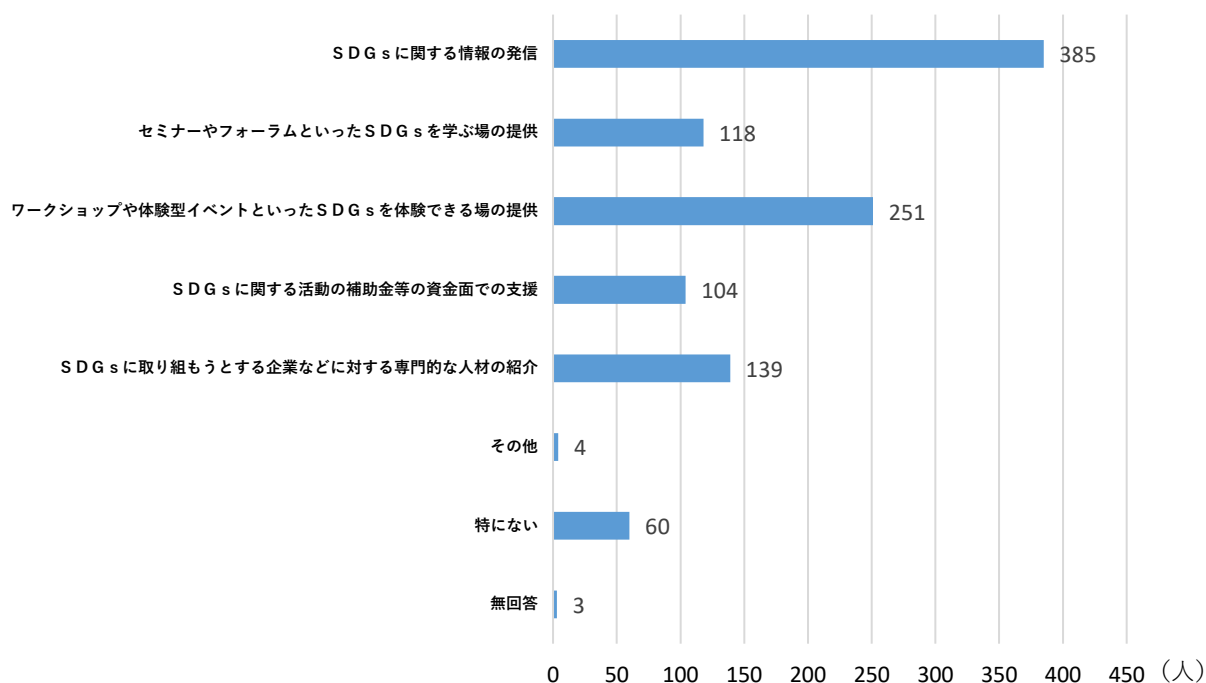
#### 「その他」のうち主なもの

- ・ 特別なことをしようと意識せずとも、当たり前のことを当たり前にする生活をしていれば、個人でできることに関しては、SDGsの掲げる目標を実践していることになると思う。
- ・ 「SDGsに取り組むためにできることを探す」というよりは、日々の行動に対して「SDGsに貢献したともいえるね」と後から確認することの方が多い。

問6 県が行うSDGs達成に向けた施策について、あなたが特に必要だと思うものは何ですか。

回答者 662 人 (複数回答)

	回答数	割合
SDGsに関する情報の発信	385	58.2%
セミナーやフォーラムといったSDGsを学ぶ場の提供	118	17.8%
ワークショップや体験型イベントといったSDGsを体験できる場の提供	251	37.9%
SDGsに関する活動の補助金等の資金面での支援	104	15.7%
SDGsに取り組もうとする企業などに対する専門的な人材の紹介	139	21.0%
その他	4	0.6%
特にない	60	9.1%
無回答	3	0.5%
計	1,064	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 県の具体的な取組内容と、県民にとってのメリットをセットで発信することが重要。
- ・ SDGsを意識していない人がとったSDGsに沿う行動に対して「それもSDGsに貢献しています」と気づかせるようなアプローチがあるとよい。

問7 その他、SDGsに関する県の施策に対してご意見などがございましたら、お聞かせください。（主な意見）

○広報について

- ・ 生活をしている中で情報が耳に入っていない。情報発信に使う媒体を見直すべき。
- ・ SDGsの目標に対し、それを達成するメリット・デメリットを具体的なエピソードや事例を入れてPRしてほしい。
- ・ 企業が行っている取組内容をPRする広報誌があるとよい。
- ・ 県主催のイベントや動画配信だけでなく、日々の生活の中で実践できる具体的な行動指針を、より分かりやすく、かつ効果が実感できる形での普及啓発が必要。
- ・ 施策をさらに成功させるためには、いかに県民一人ひとりの『自分ごと化』を促すかが鍵となる。日常生活でできる具体的な行動例を分かりやすく発信してほしい。

○学びの機会確保に関する施策について

- ・ 小中学生がSDGsについて考えられるようなイベントの開催。
- ・ ワークショップやイベントなど参加しやすい場所があるとよい。
- ・ 体験型イベント・親子で参加できるイベントがあるとよい。
- ・ SDGsのみでは敷居が高く共感しづらいため、体験者が体を使って理解ができる取組が必要。

○その他

- ・ 融資目的などで掲げただけの、実効性が伴わない「常態化・形式化」した取り組みが散見される。形骸化した取組に踏み込み、県民個人の日常生活や行動選択にSDGsを落とし込んだ、実効性のある施策の展開が必要。
- ・ 現場の声をより反映した施策や、働く人を守り育てる支援を強化することが、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない社会」に繋がると考える。
- ・ 参加団体（パートナー）間の連携をさらに深める仕組みが重要。特定の地域や分野での成功事例を、県内全域の他分野・他地域へ横展開するための情報共有やマッチング機会を増やすべき。
- ・ 具体的行動へのインセンティブが必要。
- ・ 特定の企業・団体及び個人に限定した施策のように思う。施策の水平展開が必要。